

また、小中連携の取組がやや低めであることや、全体的に「当てはまる」と回答された割合が昨年度より10%ほど下がる傾向も見られました。この結果を真摯に受け止め、教育活動のさらなる充実と、保護者の皆様への情報発信・周知に力を入れてまいります。今後とも、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

6年生 日光移動教室 ～体験を通して学ぶ～

6年生は7月15日(火) から2泊3日の移動教室を通じて、歴史や文化、自然の魅力を体感する機会を得ました。

「最高学年として一人一人が自立するために周りに気を配り、声を掛け合おう」というスローガンを掲げ、6年生全員がこの目標を胸に取り組みました。3日間の行程では、度々激しい雨に見舞われました。しかし、子どもたちは前向きな姿勢で活動に取り組みました。この経験を通じて、自然の中での学びやチャレンジする気持ちの大切さについて身をもって感じたことと思います。

初日は栃木県の大谷資料館で、大谷石の採掘方法や歴史を直接目にするすることで、その産業の重要性と地域との深いつながりを学びました。その後訪れた日光東照宮では、徳川家康の生涯やその業績に触れ、家康が残した「人としての在り方」について深く考える機会となりました。ガイドさんから聞いた東照宮の詳細な説明により、江戸時代の人々がどのように生き、社会を作り上げたのかを教えてくださいました。子どもたちはその歴史の重みを通して、現代に生きる自分たちのあり方についても思いを巡らせました。

2日目には奥日光の戦場ヶ原ハイキングを楽しみました。ネイチャーガイドさんとともに巡る湿原では、自然が人々の生活にどのように影響を与えているかを実感し、動植物の生態についても新たな視点を得ることができました。この活動では、ネイチャーガイドさんが校長先生に「幸せな時間でした」と伝えてくださったそうです。「よく聞き、考え、学んでくれた子どもたちと過ごせたこと」を幸せに感じてくださったそうです。この褒め言葉は、6年生の学びに対する姿勢が評価されたものであり、子どもたちにとって、また、本校の教職員にとっても大きな励みとなりました。

3日目には足尾銅山を訪れました。トロッコ列車に乗りながら実際の坑道を体験することで、過去の労働環境や公害問題が現代の環境保護活動にどのようにつながっているかを学びました。この体験を通じて、ただ知識を吸収するだけでなく、その歴史が現在の私たちに与える影響について考える機会となりました。

宿では、「挨拶」「靴を揃える」「廊下歩行」の習慣を意識した生活を実践しました。これにより、日常生活での学びを非日常の場でも活かすことの大切さを実感するとともに、心を落ち着かせ、仲間とより良い関係を築く大切さを学びました。この移動教室では、体験を通じて学びを深める貴重な機会が多く、児童たちは掲げたスローガンの通り、お互いに声を掛け合い、周りに気を配りながら自立への一歩を踏み出しました。保護者の皆様、そして移動教室を支えてくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。

特別支援理解教育の取組～みずき教室理解教育を通して～

7月17日、1年生から4年生の児童が特別支援理解教育の一環として「特別支援教室の指導」を体験しました。

3年生では、「見る力」「聞く力」それぞれを試すゲームでは、個々の得意不得意があることを理解し、自分の強みと課題を発見する姿が見られました。また、「ウオッチ&キャッチ」のゲームでは、「おとなよ」のルールに従いながら活動しました。「おとなよ」とは、「怒らない」「飛び出さない」「泣かない」「喜びすぎない」の4つのルールを指します。このルールを守ることで、勝敗のあるゲームでもお互い気持ちよく参加することの大切さを学ぶことができます。子どもたちは、ゲームの中でチームワークやルールの意味を考え、自分の行動を振り返る貴重な経験を積むことができました。

そして、集団生活における「気が付く力」の重要性についても学びました。周囲の状況や仲間の気持ちに気が付く力を育てることは、より良いコミュニケーションを築き、集団の中で協力することにつながります。この学びは、特別支援理解教育の中で重要な役割を果たしており、多様な個性を受け入れ、共生社会の基盤を築く第一歩となっています。

学校全体でも特別支援理解教育への理解を深めるための取組を行っています。校内委員会等の会議や研修を通じて、教職員同士が情報を共有し、児童一人ひとりに合わせた適切なサポートについて考える時間を設けています。これにより、学校全体で多様性を尊重する環境づくりを推進しています。

令和7年度 給食試食会

7月15日(火)、本校家庭科室にて給食試食会を開催しました。今年度は、「ガーリックライス」「八王子産ハニーマスタードチキン」「コールスローサラダ」「ABCスープ」「牛乳」と、彩りも栄養も満点のメニューでした。

当日は、保護者の皆様に受付から配膳までご協力いただき、エプロン姿で懐かしい給食時間を体験していただきました。試食後のアンケートでは、温かいご感想を多数いただき、給食室の調理員や栄養士にとって大きな励みとなりました。子どもたちが毎日、安心して美味しく給食を味わえるよう、栄養士の先生は季節の食材や地元野菜を取り入れながら、献立に工夫を凝らしています。今後も、給食だよりや献立表を通して、学校給食に関心をもっていただき、お子様との会話のきっかけにいただければ幸いです。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



第3回 はちおうじっ子サミット

7月30日、八王子市が主催する「はちおうじっ子サミット」がいずみの森義務教育学校で開催されました。市内の小中学校から代表児童・生徒が集まり、「いじめのない学校生活を実現するためにできる取り組み」について話し合いました。本校からも5年生が代表として参加しました。

このサミットは、八王子市のいじめ未然防止への取組の一環で、子どもたちが自分たちで考え、行動する力を育むことをめざしています。本校代表児童は、別所地区の意見共有の場に加わり、「他学年との目的意識の共有」「相談しやすい雰囲気作り」などの提案をともに検討しました。今後、本校ではこのサミットで得られた成果や学びを全校児童へ共有し、日々の学校生活に取り入れる計画です。全ての児童が「いじめのない学校づくり」に積極的に参加できる環境を整え、安心して過ごせる場を作り上げていくことをめざし、代表委員を中心に活動をしていきます。

学校運営協議会主催夏休みイベント

今年も学校運営協議会主催の「自由工作スペースで楽しくつくろう」を開催しました。昨年度の2日間の開催が多くの子どもたちに好評だったことを受け、今年は3日間のイベントとなりました。

図工室には多彩な材料と道具が用意され、子どもたちは自由な発想で作品づくりを楽しみました。集中した表情や出来上がった作品を嬉しそうに眺める姿がとても印象的でした。また、子どもたち同士がアイデアを交換し合い、楽しみながら制作を進める場面も多く見られました。

今回のイベントにあたり、ご協力いただいた学校運営協議会の皆様や地域の皆様に心より感謝申し上げます。このような活動を通じて、子どもたちが創造の楽しさを感じ、自分のアイデアを形にする経験を得られたことを大変嬉しく思います。

不登校の子どもたちを支援する学校等の説明会

八王子市には、「高尾山学園」をはじめ、不登校の子どもたちを支援する学校等がいくつかあります。指導内容やスタッフ、申込みのシステム等にそれぞれ特色があります。

そこでお子さんの状態や必要性に応じてご利用いただくために説明会を開催致します。